

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 10 月 12 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反落局面継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1σラインの下方を推移するかぎり、調整の反落局面と判断。尚、終値が、引き続き、センターラインの下方で引けており、調整が本格化していることが見てとれる。戦略としては、引き続き、前日の高値をブレイクしないかぎり、基本的に売り戦略を優先させたい場面。尚、調整反落の最終ターゲットは、-2σラインとなるが、遅行スパンがすでにローソク足に接触してきており、売りポジションの買い戻しのタイミングを迎えている。さらに、一旦は新規の押し目買いのチャンスが近いと捉えることも出来る。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、逆行パターンの売りサインが点灯継続している点、引き続き、注目。尚、最終ターゲットは、-2σラインとなる。-2σラインは 10 月 15 日時点で 111.40 円近辺

と読める。また、遅行スパンのローソク足接近のタイミングも注視したい。すなわち、同タイミングは、一旦は押し目買いのチャンスとなる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場、緩やかな上昇トレンド

○遅行スパン=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、+2σラインとセンターラインの間でのレンジ相場と判断。週足終値が+1σラインの下方で引けたことで、本格上昇トレンドではなくなった格好。尚、終値がセンターラインの上方を推移するかぎり、緩やかな上昇トレンドとも読む。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、買いシグナル点灯時の猶予期間中に付けた高値を、終値ベースで下回って引けており、逆行パターンの売りサインが再度点灯している点に注目。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場、緩やかな下落トレンド

○遅行スパン=陰転しつつもローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=レンジ相場

引き続き、遅行スパンとローソク足との位置関係に注目したい。すなわち、ローソク足の上昇に呼

応して、遅行スパンが上げる展開をメインシナリオとしたい。つまりは、目先、総じて、ユーロ底堅い展開と読む。尚、終値がセンターラインの下方を推移するかぎり、緩やかな下落トレンドとも読む。

◆スパンモデル

買いシグナルの逆行パターンの売りサインが再点灯継続している点に注目。加えて、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続中。もっとも、逆行の売りサインの最終ターゲットである-2σラインにはすでに到達した後、反転上昇に転じている点にも注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡みつつも陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2σラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

赤色スパンの逆行パターンの買いサインが依然として点灯継続中。加えて、売りシグナルの逆行パターンの買いサインがそろって点灯継続している点にも注目したい。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場、一旦はレンジの下限に到達と読む。ブル・ベアの分岐点

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆。目先、陰転するかどうかの瀬戸際

○トレンド判断と戦略=目先、 -1σ ラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。レンジ相場の下限の目途である -2σ ラインに到達しており、一旦は達成感があると読む。もっとも、今後、遅行スパンが陰転し、終値が -1σ ラインの下方を推移し続け、バンド幅が拡大傾向に変化する場合、本格下落トレンド入りの可能性が高まる点、要注意。

◆スパンモデル

依然として赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。加えて、買いシグナルの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点にも、注目。そして、逆行パターンの売りサイン点灯時の最終ターゲットである -2σ ラインに接触した後に底堅く推移している点、注目したい。また、遅行スパンが、ローソク足が安値を付けたタイミングを通過しようとしている点にも注目したい。つまりは、一旦は安値を付けやすいタイミングを迎えていると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、 $+1\sigma$ ラインと -1σ ラインの間でのレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

売りシグナル点灯時の猶予期間中に付けた安値の上方で推移していることから、逆行パターンの買いサインが点灯継続する中、逆行パターンの買いサイン点灯時の上値ターゲットである $+2\sigma$ ラインに到達した後に反落している点に注目したい。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、レンジの下限に到達した後、反発し、底堅い展開

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。レンジ相場の下限(-2σ ライン)に到達したこと、遅行スパンがローソク足に接触していることから、引き続き、豪ドル底堅い展開と読む。また、遅行スパンがローソク足に沿う格好で上昇する展開をまずはメインシナリオと読む。

◆スパンモデル

売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯中。尚、遅行スパンとローソク足との絡み具合も注視したい場面。すなわち、一旦は豪ドル安値を付けやすいタイミングを通過しつつある点に注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝陰転しており、基調として、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝目先、依然として、センターラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

赤色スパンの下向き変化時、および、売りシグナル点灯時の猶予期間中の安値を、引き続き、下方にブレイクしており、順行パターンの売りサインが点灯している点、注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場、調整の反落局面

○遅行スパン=陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。

また、終値が $+2\sigma$ ラインの上方で引けないかぎり、調整の反落局面のシナリオは続く。そして、調整反落のターゲットは -2σ ラインとなる。尚、目先、バンド幅の収束傾向が続いており、依然として、レンジ相場の地合いにあると読める。今後、相場が放れるタイミング、つまり、トレンド発生の際には、トレンドに乗りたいところ。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続する中、逆行パターンの売りサインが点灯継続している点に注目。加えて、赤色スパンの逆行パターンの売りサインも点灯継続している点にも注目。逆行パターンの売りサイン点灯時の最終ターゲットは -2σ ラインとなる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、+2σラインとセンターラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

売りシグナルが点灯継続する中、引き続き、逆行パターンの買いサインが点灯継続している点、そして、逆行パターンの買いサイン点灯時の最終ターゲットである+2σラインにほぼ到達した後、に反落している点に注目。また、遅行スパンが、高値を付けたローソク足を通過中であり、今後、反落の展開がメインシナリオとなる点、念頭においておきたい。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<https://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試し下さい。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<https://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。